

沖縄県立美里工業高等学校

令和5年度 英語科 シラバス

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科
英語コミュニケーションI	3単位	1学年	必修	全学科

1. 科目の目標：

(1)	(2)	(3)
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2. 使用教材： COMET English Communication I (数研出版)

3. 科目の概要と趣旨：

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 	コミュニケーションの行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図のなどを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

4. 評価の観点と方法：

学期ごとは「知識技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点においてABCの3段階で評価する。

学年末に観点別評価と5段階評価を出す。評価の基準としては、定期考査、パフォーマンス課題、提出物、日々の授業態度をみる。

定期考査	パフォーマンス課題・態度・提出物等
70%	30%

5. 学習計画

	単元名(授業時間数)		主な言語材料/働き	評価の方法 パフォーマンス課題・定期テスト等	5領域	聞くこと	読むこと	「やりとり」 話すこと	「発表」 話すこと	書くこと
1学期	Lesson 1	8	過去形/説明する・質問する	ペアでのやりとり	中間・期末テスト	○	○	◎		○
	Lesson 2	10	進行形/説明する・理由を述べる	スピーチ		◎	◎		◎	○
	Lesson 3	10	助動詞/説明する・情報を整理する	ライティング		◎	○			◎
	Lesson 4	10	不定詞/描写する・例示する	クイズ形式のやりとり		○	○	◎	○	○
2学期	Lesson 5	10	動名詞/説明する・理由を述べる	ペアに発表	中間・期末テスト	○	◎	○	◎	○
	Activity 2	3	説明する・理由を述べる	ポスター作成		○		◎		◎
	Lesson 6	10	that節/説明する・質問する	ペアでのやりとり		○	◎	◎		○
	Lesson 7	10	現在完了/説明する・描写する	スピーチ		○	○		◎	◎
	Lesson 8	10	受け身/情報を整理する	リテリング・リスニング		◎	◎			○
3学期	Lesson 9	10	比較/説明する・話題を発展させる	ディスカッション	学年末テスト	◎	○	◎		○
	Lesson 10	14	関係代名詞/説明する・理由を述べる	ライティング・発表		○	○		◎	◎